



## 夏の採用説明会を開始



自衛隊東京地方協力本部（本部長 岸良陸将補…当時）は7月25日から本部が企画して都内各会場において「防衛省・自衛隊採用説明会」を実施している。

今年は新型コロナウイルス感染症により、学生の夏休み期間に影響を及ぼしているものの、8月1日までの間に4回実施した説明会には、延べ97名の受験予定者と、23名の保護者が参加した。

当日は自衛隊の概要説明、カレッジリクルータとして陸海空の各部隊で勤務する若手自衛官との懇談、自衛官の職種別説明の他、保護者からの質問受けや健康相談にも応じた。この際、一部のリクルータは新型コロナウイルス感染症防止の観点から、スクایプによりオンラインで懇談に参加する等、「新しい生活様式」を踏まえ、感染防止に十分留意して実施した。

参加者からは「現役自衛官から、経験を含めた自衛隊の話を詳しく聞けて良かった」「気になっていたことが確認できて、充実した時間になった」「リアルな話が聞けて自衛隊のイメージが大きく変わり、身近に感じることができた」等の声が聞かれた。

東京地本は8月下旬にも同様の説明会を予定しており、ホームページやツイッター等で更なる参加を呼び掛けていくとともに、接触型手段と非接触型手段を併用し希望者が安心して参加できる環境を作り、自衛隊に対する理解の深化につなげていくとしている。

## 防衛省・自衛隊オフィスツアーを開催



自衛隊東京地方協力本部（本部長 岸良陸将補…当時）は7月29日、東京地本会議室及び市ヶ谷駐屯地厚生棟において、幹部自衛官との懇談や施設見学等により自衛隊に対する興味の振作等を図ることを目的として、第1回オフィスツアーを開催した。ツアーには大学3年生ら86名の申し込みがあったが、新型コロナウイルス感染症防止のため人数を制限し、43名での実施となった。

当日は全般説明の後、「大規模災害発生時における防衛省・自衛隊の役割について」をテーマとしたワークシートの作成を通じ、災害派遣時の自衛隊の行動についてイメージアップさせ、作業後の所見発表の際に、自衛隊の職域の広さについて説明した。

幹部自衛官との懇談では参加者を6グループに分け、陸海空の各幕僚監部勤務者が、それぞれの入隊したきっかけやこれまでの経歴、現在の職務について紹介した。参加者からの「語学はどれくらい必要ですか」「1丁関連の勉強をしているが活かせますか」「全国勤務はどんなメリットがありますか」等の質問にも、具体例を挙げながら丁寧に回答していた。

東京地本は今後も、海上自衛隊の艦艇部隊、陸上自衛隊の後方支援職種部隊や航空科部隊等の職場を研修するオフィスツアーを複数回計画しており、大学生らの自衛隊に対する理解を促進するとともに、志願意欲の向上を図っていくとしている。